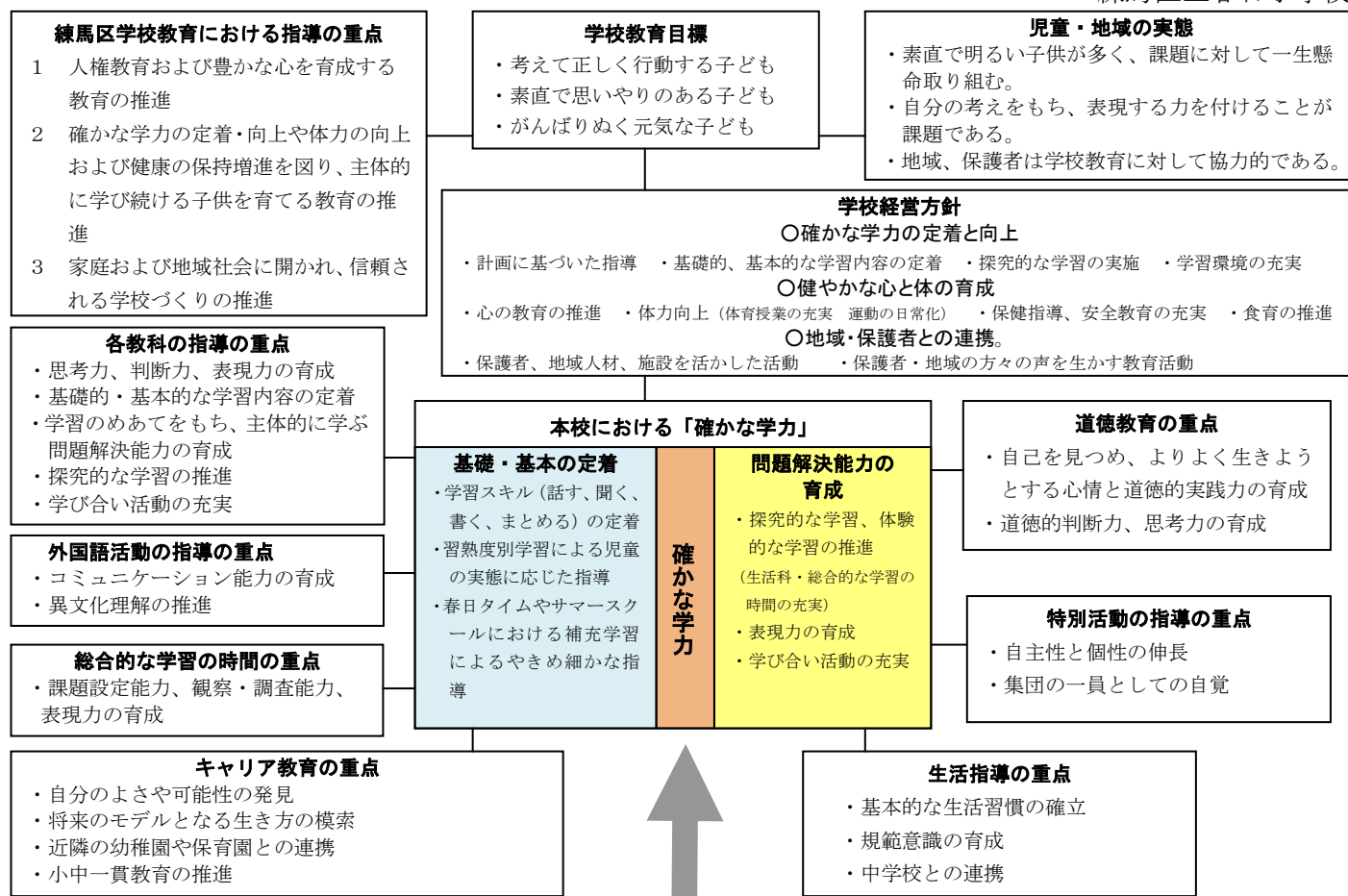


平成28年度 学力向上を図るための全体計画

練馬区立春日小学校



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中連携一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> 単元や1単位時間における問題解決的な学習を推進する。 全校体制によるノート指導の充実を図る。 児童に考えさせること、教師が教えることを明確にして指導計画を作成する。 学年の発達段階を踏まえた学習スキルの習得を図る。 体験的な学習や基礎的、基本的知識、技能を活用した問題解決学習の実施 学年合同の課題別学習を実施し、問題解決能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 3学年以上においては算数科において習熟度別学習を行い、基礎・基本の確実な定着を図る。 言語活動の充実のために、各教科において対話型の授業を展開し、児童の考えを引き出す場面を設定する。 補充の時間（春日タイム）やサマースクールの実施により、国語と算数の基礎・基本の確実な定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自ら学び、表現する児童の育成～生活科・総合的な学習の時間を通して～」を校内研究のテーマに、授業の改善・充実を図る。 研究を通して年間指導計画の改善・充実を図る。 分科会における教材研究を週ごとの指導計画に生かす。 分科会での研究をもとに、一人一人が指導案を作成し授業実践を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画に合わせて各単元の評価規準を作成し、評価指標を明確にする。 1単位時間ごとのねらいを明確にした週ごとの指導計画を作成し、授業の評価を行う。 保護者、地域、児童によるアンケート調査を実施し、結果を踏まえた上で自己評価を行う。その結果を基に学校関係者評価を実施し、授業改善に向け活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域、関係機関等の外部人材の活用を積極的に実施する。 幼稚園児や保育園児、高齢者とのふれあい体験を実施する。 保護者会、道徳授業地区公開講座、学校保健委員会等を通して、基本的な生活習慣や規範意識の育成への協力を依頼する。 地域の行事にできるだけ参加する。 地域と連携した防災訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育実践校として作成した課題改善カリキュラムの検証、改善を行う。 校区別協議会では、中学校の授業参観と生活指導にかかわる学年別の分科会を行う。第2回では、本校で全教科の公開授業と教科別の分科会を行い、グループの小中4校で連携して授業実践の向上に努める。 中1・小5・小6の3学年でクリーン運動を実践する。 第5学年を対象とした中学校の体験授業、部活動体験に参加する。